

代表質問

明石かがやきネット

竹内 きよ子 議員

本市の教育が抱える課題とその対応

問 学校施設の老朽化対策やエレベーターの設置、トイレの洋式化など、小中学校の教育施設整備の考えを聞く。

答 児童生徒に良好な教育環境を提供するため、教育施設の拡充やバリアフリー化の推進など、国の補助金を活用し、必要な整備を進めている。

令和5年度は、エレベーターを新たに小学校3校に設置し、7年度には全小中学校の整備が完了する見込みだ。トイレの改修は、小中学校各2校ずつ行い、洋式化等へのリニューアルのほか多目的トイレも積極的に整備している。

さらに、学校施設の全照明設備のLED化が完了したことにより、児童生徒が明るい環境で学校生活を過ごせるようになり、学校のエネルギー使用量も大幅に削減された。その他、児童数の増加に伴い教室不足が見込まれる学校にプレハブ校舎を整備し、老朽化した校舎外壁の全面改修工事を実施した。また、GIGAスクール構想で導入したタ



児童生徒に安全安心な学校環境を

その他の項目  
○令和6年度予算案

ブレット端末を有効活用するため、全小中学校の普通教室へプロジェクトとスクリーンの設置を進めており、6年度中に完了する見込みだ。今後も教育環境を充実させるために必要な整備を進めていく。

明石維新の会

正木 克幸 議員

経済循環型市政運営の構築

問 楽観視できない財政状況の中、環境を重視した環境循環型のまちづくりよりも、税収や税収以外の継続的な歳入確保に焦点を当て、地域経済を循環させるべきと考えるが、市の認識を問う。

答 本市は、あかしSDGs推進計画において経済・社会・環境の3側面のバランスの取

れた重点的かつ効率的な取り組みを推進し、まちの持続可能な発展を目指している。

令和6年度は、中小企業への支援として新商品開発に係る施設や機器、販売促進に関する費用の助成制度の創設などを、農業者へは経営の維持発展や経営継承の支援を、製造業への支援としては緑化に係る補助制度の創設などを行う。また、産官学による共創の取り組みとして実施する民間提案制度では、民間事業者からアイデアやノウハウを生かした市民サービスの向上や地域経済の活性化、社会課題の解決につながる提案を募集し、具体的な事業化を図ることで財源確保につながる事業



継続的な歳入確保を

を創出したい。  
恒久的な歳入確保や市内で経済が循環する仕組みは重要である。引き続き、商工会議所等の事業者との対話や共創を通じて、より効果的な施策展開を図り、市税収入以外の財源確保についても他市の事例を参考に、より効果的な手法を調査研究していく。

令和6年度当初予算の概要

SDGs未来安心予算 ～「共創元年」市民とつながり、共に創る 明石の未来～

一般会計、特別会計、企業会計の各予算議案を審議し、全ての予算案を原案どおり可決しました。  
市の基本的な行政サービスを行うための一般会計当初予算は、障害福祉事業費や私立保育所等運営事業費の増加などにより、前年度に比べ約7億円の増で、過去最大の予算規模となっています。

予算総額 2,223億8,469万円 (前年度比0.9%増)

一般会計	1,262億7,855万円(前年度比 0.6%増)
特別会計	698億9,755万円(前年度比 1.7%減)
企業会計	262億 859万円(前年度比10.2%増)

まちづくりの基本方針 対話と共創

対話と共創のまちづくり

- 市民にやさしいDX(デジタル改革)の推進 (6,894万円)
- 産官学との共創によるまちづくりの推進 (1,050万円) など

安全・安心のまちづくり

- 安全で利便性の高い幹線道路の整備(山手環状線・江井ヶ島松陰新田線) (13億1,317万円)
- 鉄道駅のバリアフリー化と踏切の安全対策 (2億 93万円) など

こどもを核としたまちづくり

- 不登校児童・生徒への支援(校内フリースペースの設置等) (1億4,006万円)
- 病児・病後児保育の拡充(オンライン予約等) (9,902万円) など

インクルーシブのまちづくり

- 介護・障害分野の人材育成・施設整備等の取組 (7億3,965万円)
- 認知症あんしんプロジェクトの推進 (5,473万円) など

豊かな自然を生かした循環型のまちづくり

- 脱炭素化に向けた省エネ・再エネ設備の導入促進等の取組 (5,038万円)
- 新ごみ処理施設の整備・運営に向けた取組 (4,145万円) など

賑わいのあるまちづくり

- 西明石地区活性化に向けた取組 (5億8,123万円)
- 本のまち明石の取組 (5億6,974万円) など